

## 卒前医学教育の新しい動向 6：医療安全教育<sup>\*1</sup>

松 岡 健<sup>\*2</sup>

### はじめに

現在、日本の医療機関における医療事故に社会的に多大なる関心が寄せられており、医療情報の公開を求める動きを加速し、医療の提供に透明化と説明責任が強く求められている。

各大学において事故を予防するためには直接的に事故を予防する安全管理とその基盤となる卒前卒後の安全管理教育を充実させるのが重要である。

本稿は特に卒前医学教育における安全管理教育において、わが国の現状をふまえ考察する。

### 1. 医療事故の原因分析<sup>1,2)</sup>

医療事故の事例分析を必ず記述し重要な情報として抑えることは、何が起こり (What)、どう処理されたか (How)、何故起こったのか (Why) である。このように重要なさまざまな記述はあるが、問題点の抽出を行うと背後要因に根本原因と Software で必ず問題視されるのは事故を起こした本人の能力 (技能・知識) そして心理的な精神的状態・コミュニケーション等 (態度) である。このことはまさしく医学教育が非常に重要な役割を担うことは自明の理である。哲学の部分では「偶然と必然」という言葉があるがまさしく医療事故は「必然」と考え、教育する必要がある。

### 2. 医療従事者の卒前教育の推進<sup>3~5)</sup>

1) 卒前教育において、安全で患者に安心感を与える医療の提供は、医療従事者に求められる職務である。

2) 医療従事者の意識過程において、医療事故

の防止に関する教育を確実に実施していくことが必要である。2003年より行われた国公立大学医学部共通カリキュラム (コアカリ) の中に安全管理教育を取り入れ、卒前教育における安全管理教育がいかに重要か再確認されている。

### 3. 卒前安全管理教育に必要な事項<sup>6~9)</sup>

医学部卒前において、安全管理教育を行っている大学は図1のごとく多数あるが、必ずしも一定したカリキュラムではなく、多種多様である。

基本的には患者さんの安全を守るには、意思疎通やチーム内連携等のコミュニケーション能力と倫理観の養成が不可欠である。したがって、BSLを含めて、医療安全に関する理論を実践的な演習・実習を教育の主体としている。

実践的な演習とは「医療安全学」として危険予知について体験的に学ぶため、ロールプレイを行いながら、医療事故の予防に役立つ実践的な演習を行う。さらに医療安全に関する基礎理論、根本原因分析、信頼性を学んだのち実際の事例を検討して医療事故の詳細について学習する。

### 4. わが国の卒前における「安全管理教育」の現状について<sup>10,11)</sup>

1999年横浜市立大学附属病院にて患者取り違え事故を契機に、医療事故防止案の一環として医学生への教育も視野に入れた医療安全管理学講座が構築され、全国的にも安全管理が各大学のカリキュラムに導入されるようになった。

表1は2003年度「医療安全」が独立した科目として授業をしている大学である。

### 5. 大学における組織的な支援の重要性<sup>10,12,13)</sup>

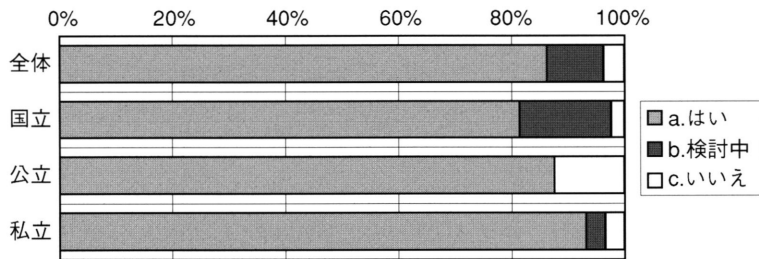
大学病院機能の構成要素は図2のごとく「Quality」「Hospitality」「Sustainability」がそれ

<sup>\*1</sup> Medical Safety Education

キーワード：安全管理教育、医療事故、倫理教育

<sup>\*2</sup> Takeshi MATSUOKA 東京医科大学霞ヶ浦病院院長

○医療安全および危機管理（リスクマネジメント）に関する教育は行われていますか。



	私立	公立	国立	全体
a. はい	27	7	35	69
b. 検討中	1	0	7	8
c. いいえ	1	1	1	3

図1 わが国の大学医学部医療安全に関する教育<sup>10)</sup>

表1 わが国における医学教育カリキュラムの現状<sup>11)</sup>

国立 43校中 19校実施

秋田大学医学部・群馬大学医学部・東京医科歯科大学医学部・新潟大学医学部・信州大学医学部・富山医科大学・金沢大学医学部・福井大学医学部・三重大学医学部・岐阜大学医学部・神戸大学医学部・山口大学医学部・愛媛大学医学部・高知大学医学部・大分大学医学部・鹿児島大学医学部・防衛医科大学校医学教育部・岡山大学医学部（選択必修）・浜松医科大学（選択）

公立 8校中 4校実施

札幌医科大学医学部・横浜市立大学医学部・京都府立医科大学・大阪市立大学

私立 29校中 9校実施

自治医科大学・日本医科大学・東京女子医科大学・東京慈恵会医科大学・東海大学医学部・金沢医科大学・大阪医科大学医学部・産業医科大学・久留米大学医学部

計80校中 32校実施

平成15年度 医学教育カリキュラムの現状

「医療安全」が独立した科目として授業をしているか。

それ「安全」に関与する。医療行為に関わることは、「Quality」、信頼などは「Hospitality」であるが、「Sustainability」は大学の組織基盤として「安全」という側面から特に重要であり、大学の

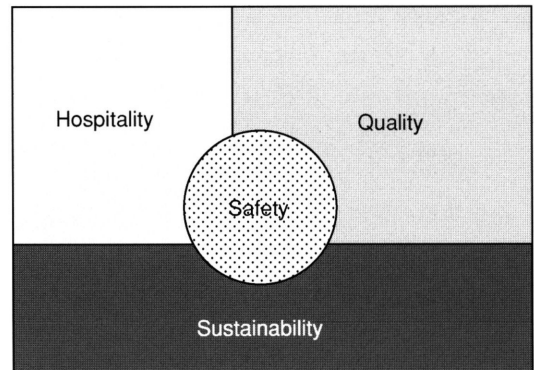


図2 医療におけるリスクマネジメント<sup>10)</sup>

組織特性が重要位置となる。大学における、教育、特に卒前は「鉄は熱いうちに鍛える」ということ、良医教育は低学年から必要であり、その上6年を一貫として行われなければならない。したがって、大学においてリーダーシップをとる方々の医療安全管理教育に教育コストを投下していく必要がある。

最後に、安全に関してはわが国において、社会全体が強い関心があり、組織における企業倫理（CIU）が極めて重要な問題となってそれを怠ると信頼の崩壊に繋がる。

医療においても同じことが言える。教育機関である大学病院においても、安全管理は最も重要課題である。世界的に見ても医療における安全管理

は WHO が重要項目とし、各国の医療教育においても早くから安全管理に関係したコミュニケーション学習、倫理教育、人間関係教育等に力点が置かれていた<sup>14)</sup>。

わが国においても今後ますます卒前安全管理教育はコアカリの見直しとともに重要性を増していくと考える。

#### 文 献

- 1) 今中雄一監訳. Making Health Care Safer. 医学書院, 東京, 2005.
- 2) 河野龍太郎. 医療におけるヒューマンエラー. 医学書院, 東京, 2004.
- 3) 村井隆三. NEW JMP 卒後臨床研修対応サポートテキストシリーズ① 行動目標達成のための「安全管理」ポイント 60. 日本医療企画, 東京, 2004.
- 4) 水嶋春朔, 大滝純司, 北村 聖・他: アフガニスタンにおける医学教育の再構築. 医学教育 2005; **36**: 365-369.
- 5) 厚生労働省医政局. 医療安全対策検討会議ヒューマンエラー部会. 2001. 11.
- 6) 橋本廸生. 医療安全管理の推進に重要な病院の基盤づくりと医療サービスの質向上. 薬の知識 2001; **52**: 150-152.
- 7) 橋本廸生. 医療改革と医学・医療・福祉教育のあり方 安全管理教育. 第 26 回日本医学会総会誌 2003, p.264.
- 8) 橋本廸生: チーム医療におけるリスクマネジメント. *Med Digest* 2002, **51**: 17-24
- 9) 榊井良裕, 箕輪良行, 藤縄宜也・他. 院内救急体制を確立し, 救急医学が医療安全教育を推進すべきである. 日救急医学会誌 2005; **16**: 443.
- 10) 全国医学部長病院長会議: わが国の大学医学部(医科大学)白書. 2005.
- 11) 全国医学部長病院長会議. 平成 15 年(2003 年)医学教育カリキュラムの現状.
- 12) 石川雅彦. 卒前看護教育における医療安全教育のストラテジー. 日看教会誌 2005; **15**: 202.
- 13) 国立大学医学部附属病院長会議常置委員会. 医療事故防止のための安全管理体制の確立について—「医療事故防止方策の策定にする作業部会」—. 2000. 5.
- 14) 日本医学会. 第 127 回日本医学会シンポジウム 医学・医療安全の科学. 2004. 8.
- 15) [http://www-0.6.ibm.com/jp/solutions/20051130.gifu\\_university.html](http://www-0.6.ibm.com/jp/solutions/20051130.gifu_university.html)
- 16) <http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~tokugp/>
- 17) <http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/I-anzen/index.html>